

# 飛鳥宮跡活用検討委員会

## 第3回委員会資料

平成29年3月16日

奈良県まちづくり推進局公園緑地課

1. 飛鳥宮跡における景観
  - 1) 景観の現況
  - 2) 明日香村景観計画における位置づけ
  - 3) 活用における景観の考え方
  - 4) 外部からの景観の検証
  - 5) 内部からの景観の検証
2. 飛鳥宮跡の現況
  - 1) 史跡整備の状況
  - 2) 飛鳥宮跡活用の状況
  - 3) 公有地化の状況
3. 活用の基本方針等について
  - 1) 活用の基本方針（案）
  - 2) 飛鳥宮跡の価値について（総論）
  - 3) 飛鳥宮跡の価値について（各論）
4. 活用・整備のイメージ
  - 1) 活用の視点と展開イメージ
  - 2) 活用のメニュー（案）
  - 3) 「明日香における歴史展示」等による解説
  - 4) ソフトによる活用のイメージ
  - 5) ハードによる活用のイメージ
5. 基本構想の構成（案）

# 1 飛鳥宮跡における景観

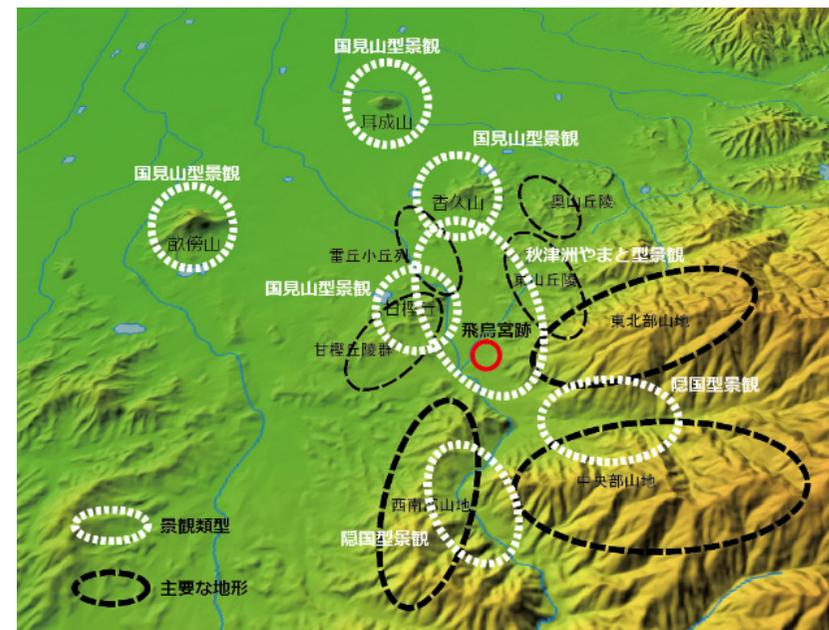
## 飛鳥宮跡における景観の現況を整理する

### 1) 景観の現況

#### (1) 周辺景観の現況

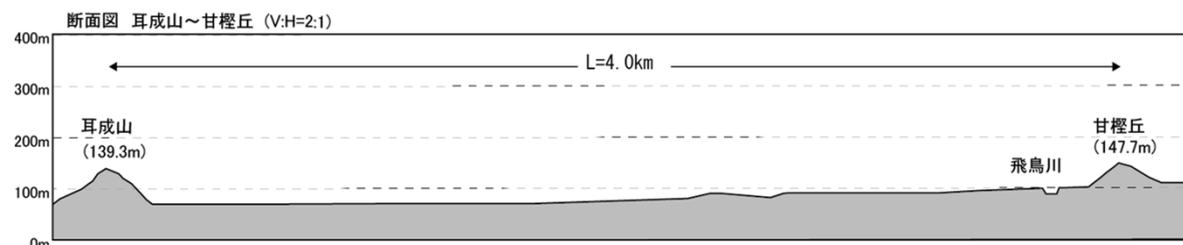
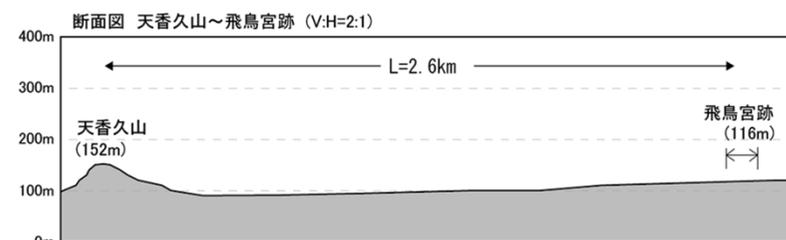
##### a. 飛鳥宮跡の周辺景観の特徴

- 平地（盆地）と周囲の山地・丘陵による「秋津洲やまと」の景観
- 大和三山に代表される「国見山」の景観
- 飛鳥特有の「原」のつく地名→平地（盆地）と山の織りなす景観
- 青垣の山々に囲まれた奈良盆地と、その南端に位置する飛鳥小盆地が“入子状の景観”を形成
- 山々の手前に農地が広がる開放的な景観
- それらが渾然一体となって形成された、地域を代表する歴史的風土景観



◆ 飛鳥宮跡周辺の地形と景観

図出典: 国土地理院ウェブサイト(<https://maps.gsi.go.jp>):色別標高図を基に作成



◆ 主要断面図(周辺)